

24歳から10年が経ち、  
34歳の自分が今思うこと

今から10年前。

僕は24歳でした。

まだ世間から見るとバリバリ若者と言える年齢。

だけど、[ちよどこないだ書いた記事](#)も書いていたけど、焦りを感じていた時でもあった。

大学を卒業してから2年経ち、僕の毎日は何も変化がない日々になっていた。

平日は仕事場と家の往復（当時の僕は家業の鍼灸接骨院で働いており、実家と職場が併設していたので、ほぼ移動ない）

彼女なし、友達もほぼいない。

そんな僕の休日は、一人でTVゲームか2chまとめを見るだけ。

ちなみに仕事は2年経った今でも、あいからわず、ミスやヘマをする。

そのくせに慣れてきたこともあって、以前よりも緊張感や刺激が殆どなく

なってきたている。

そのような環境下のせい、殆ど自分の成長を感じられない。

ちなみに数少ない就職した友達は仕事に慣れてきて、新人の時とは違って、活躍する場面が多くなっている。

けど、自分は何も大学の頃と変わっていない。

いや、高校生くらいから変わっていないのではないかと思う。

思えば、あの頃からでTVゲームか2chまとめを見るだけだった。

あの頃と今の自分は何が変わったのだろうか・・・

変わったことといえば、夜に1人で酒を飲むようになったくらい。

そして、缶ビールとか酎ハイとかを2〜3本飲んでは、酔いが回ってきて、

「マジでこの敵うぜー!!!」

とか、ゲームをしながら独り言が多くなったことくらい。

(もしかしたら、高校生の時よりも精神的に退化しているからもしれな・・・)

そう思っは一人、四畳半の部屋の中で勝手に落ち込む日々を送って

た。

また、凹むと同時に強い不安や恐怖も感じていた

このままいけば、1年、2年・・・いや、5年、10年後もただただ年を取るだけで何も変わらないのではないか。

精神年齢が子供のまま、大人になる自分。

(子供みたいなおっさんって、マジでキモいわ・・・)

とか思っていた自分が、そのような自分になりそうだった。

本当に嫌だった。

けど、そのようなことを思うだけで、当時のグズな自分は全く行動には起こさなかった。

今と違って主体的に何かを学ぼうとかと言う気も全く起きないし、怠惰で頭も良くなかった。

はっきり言って、今の生活は超つまらない日々だし、このような生活を変えていきたい。

けど、自分から大きく変わる為の行動する勇気がない。というか変化がめっちゃくちゃ怖かった。

そんな情けない+自主性が皆無の人間なので、ガチでお先真っ暗に感じた。

この時は少なくとも輝かしい未来なんて、この時は1ミリも自分に訪れるとは思っていなかった。

なので、当時は

(将来は、ホームレスのならないくらいの生活ができれば良いな・・・)

とか今振り返るとめっちゃくちゃ低い目標で生きていた。

しかし、そんなダメな僕を変える運命の出会いがあった。

それが「オンラインビジネス」

不幸中の幸いか元々中学・高校時代はオンラインゲームのオタクでパソコンはそれなり動かしたことから、すぐにオンラインビジネスに苦戦することなく挑戦することができた。(オンラインゲームでもコミュ障で友達が少なくソロプレーばかりだったけど・・・)

しかし、元々文字が読むのが苦手で、頭が悪いのでブログを立ち上げる(ワードプレスをインストールして、動かす)まで、確か二週間以上かかった。

また一ヶ月以上かけて学んで、自分の情報発信のサイト(現在はありません)を作って、メルマガ配信をしたけど、帰ってきた返信は「もっと勉強

してから配信した方が良い」と言うお説教のメール。

(何をやってもダメだな・・・俺は。。。)

今までのように何をやっても失敗ばかり。

(このままオンラインビジネスを続けても無駄かもな。)

結局、自分は不器用で頭が良くないし、何をやってもダメ。

そして、もう世間から若者見られる年齢も終わりに近づき、ダメなおっさんになっていく。

そう思うと10年後の自分なんて、考えることが恐ろしくてたまらなかった。

10年後の自分なんて想像すらしたくなかった。

僕はそのような情けないダメ人間だった。

けど本当にダメだった過去の僕でしたが、結論から言えば、オンラインビジネスを始めたことが、きっかけで僕は急激に変わりました。

まあマンガや映画のように覚醒して、急激に変わるなんて現実には起こらなかったが、本当に少しずつ、徐々に変わっていきました。

まず大きく変わったのが、コミュニケーション能力。

元々僕は幼少の頃に日本語が上手く話せないことから、人と話すこと自体が苦手になり、自ら発言していくことなんて殆どなく、学生の頃から積極性が皆無の人間でした。

自分から何かを提案したことなんて殆どないし、人から話しかけられるのを待っているような人間。

また、いざ人に話しかけようとする、慣れていない人だと緊張して、声がどもったり、早口になったり、嚙んだりして、

クラスメイト「もっと落ち着いて話せよwww」

みたいな感じでからかわれたりすることも良くあった。

だから、さらに人と話すのが嫌になり、黙っていると云う悪循環。

内心

**(このままじゃなダメだ。変わらなきゃ)**

とずっと思っていた。

しかし、怠惰だった僕は行動を起こすことなく、結局「コミュ障」という状態で24歳まで生きてしまった。

しかし、そのようなダメな人間の僕でしたが、オンラインビジネスで学んだことにより、手に取るようにどのようにしていけば、人に好感を持たれ、信用されていくメカニズムを理解できたことにより、変わっていききました。

主にマーケティング、ライティング、セールスなどを学んだことが大きかった。

これらのビジネスの枝葉のテクニク的なことではなく、ビジネスの原理原則・・・つまり、根幹を学んだことが大きかった。

これにより僕はどのような言葉を書けば人は好感を持ち、さらに信用され、自分の思う通りの行動してくれるのかが徐々にわかるようになってきたのである。

そして、このように徐々に人を動かす知識が身についてきた時、僕にとって一番大きな転換であり、成長に繋がったのが「YouTube」という存在。

僕がYouTubeを実践した頃は、YouTuberは圧倒的に少なく、ある程度キーワードを定めて動画を自身のチャンネルにアップロードすれば、一定数の人が見てくれる状態でした。

そこで僕は知り合いからの勧めでもありましたが、マーケティング、ライティング、セールス等の学んだことを題材に様々なことを話した動画を全体公開でUPすることにしました。



元々話すのが苦手で人並み以下なのだから、話す練習も兼ねて・・・

みたいな感じで、話のリハビリをすると言うような完全な後ろ向きでの動画をアップしていったのです。

**1日1本、ノーカット、ノー編集の一発撮りで、最低15分はしゃべった動画を撮って、YouTubeにアップ。**

こんな目標を決めて、とにかく動画を撮っていきました。

再生回数とか評価とかは、ぶっちゃけどうでも良く、ガチでコミュニケーションのリハビリ的な感じで当時はやっていました。

撮影した動画に一切編集を入れない、ノー編集の縛りだったことから、15分の動画を1本撮るのに、6時間くらい掛かって、睡眠時間が殆どなくなったこともありました。

そのくらい最初は上手く撮れませんでした。

また当時は実家暮らしで、夜に撮影していると、家族に「うるさい」と苦情を言われていたので、ウォークインクローゼットの中で、トイレトペーパーを土台にMacbook Airを設置して、動画を撮っていました。

このような状況に

(パソコンに向かって、誰が聞くかわからない動画を一人喋って・・・俺、何やってんだろ)

と何回も思いました。

また撮った動画を聞き返してみると、自分の声が思った以上に暗く、気持ち悪い声をしていたことに気づき、また話も脱線していることも多くて、何を言っているかわからないことも多く、当時は相当凹みました。

また、動画を見返すたび「もうやりたくない」とすら思っていました。

しかし、僕は続けました。

「これは僕にとってリハビリなんだ」と思い込み、当時は懸命に動画を撮り続けました。

そして、チャンネルに10、20、30、40・・・と徐々にアップロードした動画が増えていくと同時に、徐々に動画へ評価がつけられていきました。

(低評価の嵐にならなければいいな・・・)

と完全に後ろ向きな気持ちだったのですが・・・

**再生回数 214 高評価 5 低評価 1**

みたいな感じで、最初の方の動画に低評価のものはあったものの、新しい動画になるにつれ、僕が作った殆どの動画が高評価の方が上回っていたのです。

さらには

「声が聞きやすく、わかりやすくて助かります」

と感謝のコメントも来ていたりしました。

この結果に一番驚いたのが僕自身でした。

話すのが苦手で、今まで人生で一度も褒められた記憶なんてなかったのに、このようなコメントが来たのですから。

なので、徐々に評価された僕は俄然とやる気が出て、その後も毎日YouTube動画をアップロードしまくりました。

(もっとYouTube動画を撮れば、実力が上がるかもしれない！)

そう思った僕は少なくとも半年以上、毎日YouTube動画を撮り続けていきました。

そして、毎日YouTube動画を撮り続けたある日、ビジネスのセミナーの懇親会に出席しました。

そして、緊張症の僕は気合を入れ、隣になった人と話していったのですが・・・物凄い違和感を感じました。

なんか良くわからないけど、以前よりもめちゃくちゃ自然かつスムーズに

話せるのです。

勝手に自分の頭の中で言葉が浮かんできて、めちゃくちゃ話せる。

前なんか何を話したらいいか頭が真っ白になって。会話が終わってしまうことがデフォルトだったのですが、なぜか勝手に頭に言葉が浮かんできて話せてしまうのです。

そして、さらに

「山崎さんの話、めちゃくちゃ勉強になるし、面白いですね！！！」

とか隣の人に言われる結果に。

さらに話が盛り上がってることから、周りの人が僕たちの会話に混ざって、いつの間にか自分が中心となり、会話が起ころうようになってきたのです。

こんな経験なんて生まれて初めてだったので、僕自身が一番驚きました。

というか、こんな流暢に話せる自分が、今までの自分ではなかったもので、懇親会が終わった後に、少し吐き気を感じたくらいでした。

(なぜ?こんなに勝手に話せるのだろうか?まるで自分ではない自分が話しているみたいだ・・・)

と、当時の勉強不足だった僕は要因がわからなかったのですが、今振り返

ると、完全にYouTubeのおかげでした。

一人でYouTube動画を撮影したことがある人はわかるかと思いますが、初めは、PCの画面に向かって一人で話すのって、難しいのです。

まず当たり前ですが、話し相手がいないからこっちで想像しなければいけなし、相槌などのリアクションもないから、相手の反応すら想像しなくてはいけない。

また一人の場合は、画面に向かってずっと話し続けなければ、声が消えて、ただの放送事故動画となってしまいます。

ですから、動画を撮りながらも話の構成を考えて、話し続けなければいけません。

このようなことから、思ったよりもYouTubeにて一人で話し続ける動画を撮るのは思った以上に、最初は難しいのです。

しかし、そのような環境下で僕は毎日動画を撮り続けたことにより、最初は全くできなかった話ながら次の展開を考えて話すことができるようになり、さらに一人で30分以上、話し続けることも出来るようになったのです。

で、このような状態になるとわかりますが、人がいる時の会話ってめちゃくちゃラクになります。

まず相手の表情や雰囲気から話に興味があるかなどがわかるので、次の話

の展開をどうすれば良いかがわかる。

また相手が話している時に考える時間はあったり、自分が話さなくていいのでラク。

さらにはテーマの縛りもないので、自由に色々な話題に持っていける。

そして、このようにYouTubeの一人話よりも通常の会話のが、圧倒的にラクなことからも、結果的に余裕を持って会話ができるようになるのです。

このようなことから僕はリハビリとして始めたYouTubeだったのですが、気づいたらリハビリどころか、コミュニケーション能力を上げることにむちゃくちゃ繋がっていたのです。

そして、これまた大きかったのが、マーケティング、ライティング、セールスなどの知識が定着したことです。

YouTube動画を撮ることは自然と学んだことのインプット&アウトプットに繋がっていたことから、しっかりとマーケティング、ライティング、セールスなどの知識が定着したのです。

そもそも僕は人一番、記憶力が悪い人間でした。

自己紹介をしても相手の名前をすぐに忘れるし、一度書籍で読んだ内容も

三日経てば何も覚えていない言う感じでした。

この記憶力のヤバさがわかるエピソードとしては、学生時代、僕は一夜漬けをしたことがほぼありません。

勘違いして欲しくないのが「真面目だからコツコツ勉強をしており、一夜漬けをしたことない」という意味ではありません。

**僕は一夜では全く覚えることができないので、赤点を取るからです。**

実際、みんな一夜漬けをしていることから、一度、真似して実践したこともありましたが、その時は見事に赤点を取り補修となりました。

だから僕は真面目だからコツコツ勉強するというのではなく、一夜では全く覚えられないから、コツコツやるしか選択肢がなかったのです。

そのくらい短期的な記憶力が、僕はダメなのです。

ちなみに現在は頭を使うようになってから、少しは改善してきましたが、今でもあまり短期的な記憶は得意ではありません。

なので、このようなダメな自分に幻滅したことなんて何万回あったことか・・・

しかし、YouTube動画を撮るようになってからは、まずは学ばないと話す内容がないので何かしら、予め話すテーマのことを学ぶ必要性が出てきます。

そして、その学んだ内容を上手く話さない相手に伝わらないことから、言葉を選んだり、具体例を用いて分かりやすく話さなければいけない。

で、いざ学んだことをYouTube動画にして話そうとすると・・・

(あれ、今回って学んだことで役に立つことってなんだっけ?)

(これ自分で聞いても超わかりづらいから、もっと具体例でわかりやすくしないと)

(あー、途中まで良かったのに、具体例が思いつかなくて止まった!取り直し!!!)

など、こんな風な感じで、とにかく動画の取り直しの嵐でした。

・・・で、このようなことがあるとどうなるかと言うと、

強制的に学んだこと(インプット)内容を復習して、アウトプットを何度も繰り返すことになるのです。

なので、僕は何回も動画を撮り直していることから、自分のダメさを感じているのと同時に、実はしっかりビジネスの知識を定着させる訓練をしていたのです。

そして、何回も繰り返していたことから、見事に定着しました。



それこそ掛け算の九九レベルで定着しました。

・・・だからこそ、懇親会になった時に、僕は自分のことが自分ではないくらい話せるようになった、つまり、コミュニケーション能力が上がったのです。

で、コミュニケーションが取れる、そして知識が定着したことにより、僕は、さらなる恩恵を受けることとなります。

それが「持っている知識をマネタイズが出来るようになった」ことです。

知識をマネタイズというと、オンラインビジネスで実績が出たことを軸にして発信していく・・・ということが、なぜかこの業界では思われがちです。

しかし、それこそ僕は

- ・家業の鍼灸接骨院の経験を通して学んだ健康の知識
- ・23歳まで彼女が出来なかったが、そこから挽回できた恋愛の知識
- ・漫画やゲームが好きだったことから勝手に覚えたそれらの知識
- ・当時、馬肉が好きなおことから覚えた馬肉の知識

など、ビジネス以外にも持っている「あらゆる知識」を利用してマネタイズできるようになったのです。

そして、マネタイズできるのは自分の知識だけではなく、他人が持っている知識でもできるようになったことから、コンサルタントとしても活躍できるようになりました。

また初めはWEB専門のコンサルタントとして活躍していましたが、クライアントによってはオフラインの事業を改善した方が、売上が伸びる人もいたことから、段々とWEBオンリーじゃなく、オフラインも含めた総合的なコンサルもしていくようにもなりました。

具体的に飲食店、整骨院、ペットショップ、個人塾、大学教員、士業・・・など、様々な業種のコンサルを行なっていきました。

正直、このような状況に一番驚いているのは自分自身です。

数年前まで何をやっても劣等生だった自分が人にビジネスを教えるようになったわけですから。

・・・で、このような感じで僕は24歳から10年経ち、現在34歳になったわけですが、このような経験を通して、

**10年後の自分なんて自分次第でどうとでも変われるから、考えるだけ無駄。**

と、僕は強く思っています。

実際に10年前の自分は冒頭に書いた通り、社会不適合者と言っても良いくらい何もできない出来損ないの人間でしたから。

けど、そんな人間が別人のように変わり過ぎています。

まあ勿論何もせずに変わる都合の良い現実なんて、絶対というレベルで、僕はないと思っていますが、適切なことを学び、適切な行動を取れば、人は成長していき、変わっていくものです。

実際、僕自身が大きく変わりました。

そして、変わった後の人生は、今までの何倍、何十倍も楽しいです。

また何よりも嬉しいのが、人から圧倒的に感謝の言葉をかけてもらえるようになり、自分という存在が他人から必要とされるようになったことです。

昔の自分は、いてもいなくてもどっちでもいい存在でした。

むしろ、どっちでも良いどころか、社会に何も貢献しない「穀潰し」と言っても良い存在でした。

というか、実際、そのような「穀潰し」という現実を、過去の自分は誰に言われたわけではないけど、薄々とそのように感じていました。

家業の鍼灸接骨院は、別に僕一人が抜けたところでそんな困らないし、仕事がなければ、家でゲームしたり、2chまとめを見るだけの人間でしたから。

生産性が皆無の人間です。

このような現実に対して、

(別に穀潰しでも自分が楽しければ良いし、社会が求めているなくとも、俺には関係ないね！)

と、開きなっただけの気持ちでいることが多かったのですが、自分の同い年の世代の方が、テレビや雑誌で活躍している様子を見るたびに、嫌な気持ちを抱いていました。

(あいつは活躍しているのに、自分は何をやっているんだろう・・・)

というようなことを。

結局、正直に自分の心と向き合えば、只のコンプレックスだったのです。

けど、そんな自分を認めたくないから「関係ない！」と言うしか心の安定を保てなかったのです。

何とも情けない自分自身でした。

けど、今はそのような気持ちを感じることはありません。

あれから10年が経ち、適切なことを学び、適切な行動を取ったことにより、他人に貢献できることができ、社会から求められる存在になったからです。

だから、もう自分が情けないとは思いません。

また大富豪からみたいは端金かもしれませんが、それなりにお金も手にするようになり、物価が上昇して生活が逼迫する人が増えている中、全く気にすべきところではないので、それも助かっています。

むしろ、お金があることから以下のように

様々な日本や世界のリゾートに行ったり、

<https://yamazaki01.com/itteyokatta/>

海外で事業をしたり、

[https://yamazaki01.com/kaigai\\_real/](https://yamazaki01.com/kaigai_real/)

東大ベンチャーに関わったり、

<https://yamazaki01.com/sigotonaiyou/>

と、24歳のころには絶対というレベルで不可能だった、様々なことができるようになりました。

このようなことを達成できたのも適切なことを学び、適切な行動を取ったから。

僕は今年34歳になります。

そして、また10年後は44歳。

もう完全なおっさんとなるその歳に、自分は何をやっているだろうか。

今までの10年からも予想をしても、これからの10年は、ほぼ予想だにしない結果になることが強く予想されるので、10年後を楽しみにして待ちたい。

・・・ちなみにこの文章は次の仕事の待ち時間の都内カフェで書いている。

さて、そろそろ待ち合わせの時間が近づいてきているから、パソコンを閉じて向かわなくてははいけない。

最後になりますが、10年前にオンラインビジネスに挑戦した時から、も今も変わらないことが一つだけあります。

**それが毎日、今自分が出来ることを精一杯いっぱいやることです。**

嬉しい時も、辛い時も、悲しい時も精一杯やる。

この積み重ねで自分はここまできましたから。

さあ今日も今の自分のできる限り、精一杯やってやろう。